

科目ナンバー	SEM-4-005-ky		科目名	卒業研究（小林）		
教員名	小林 恵美		開講年度学期	2020年度 前期～後期	単位数	4
概要	課題演習「第二言語習得研究」での学びを基盤に、研究テーマを選び、個別に担当者と相談しながら研究を進め、論文に仕上げる。					
到達目標	選択した第二言語習得研究に関するテーマに関する論文作成が大きな目標となる。					
「共愛12の力」との対応						
識見	自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識		自己を理解する力		伝え合う力	○	分析し、思考する力
共生のための態度		自己を抑制する力	○	協働する力		構想し、実行する力
グローバル・マインド		主体性	○	関係を構築する力		実践的スキル
教授法及び課題のフィードバック方法	毎週数名ずつ担当者が研究テーマに関する学びについて発表を行い、討論、意見交換必要に応じて講義や個別対応も実施論文を書き始めると、担当者の確認に加え、ゼミ生間で読み合い理解したことや疑問点など互いにアドバイスする機会も設ける					
アクティブラーニング	○	サービスマーケティング			課題解決型学修	
受講条件 前提科目	課題演習Ⅰ・Ⅱを取得済みの者					
アセスメントポリシー及び評価方法	リサーチポートフォリオ作成 卒業研究論文（20000字以上） 卒業研究口頭発表					
教材	浦野研・亘理陽一・田中武夫・藤田卓郎・高木亜希子・酒井英樹（2016）『はじめての英語教育研究』研究社					
参考図書	各自選択する論文のトピックによって参考図書が決まるため、随時紹介					
内容・スケジュール	毎週数名ずつ担当者による各自の研究について経過発表を行い、討論、意見交換を行う。必要に応じて講義や個別対応も実施。 テキストも毎週読み進め、授業時間で内容や理解を確認。 前期：論文作成に役立つ様な情報をまとめる、リサーチ・ポートフォリオを作成 後期の主な予定： 卒業研究は、12月上旬に論文に仕上げて提出 翌1月に課題演習の学生を含めゼミ生対象に口頭発表を行う 卒業論文はまとめて論集を作成する 授業時間外の予定：9月上旬に開催する神田外語大学との合同ゼミ合宿（3泊4日）にて、経過発表 シャロン祭にて研究内容の紹介 2～3月に神田外語大学の学生と卒業研究論文合同発表会（2泊3日）を開催					

Number	SEM-4-005-ky	Subject	Graduation Thesis			
Name	小林 恵美 (Kobayashi Emi)	Year and Semester	Full-year for 2020	Credits	4	
Course outline	0	In this seminar, you will produce and defend a thesis under my supervision in second language acquisition and teaching or related fields (e.g., language teacher education, the role of language in intercultural communication). Major activities include reading, writing, oral presentations, and discussions. You can collect primary data to answer your research questions related to a topic of your interest in SLA and produce your thesis. Alternatively, you can conduct secondary research to synthesize findings and identify gaps in the literature on your chosen topics.				